



すらりと伸びた長い手足が勢いづける」。ラケットを握る右手に、自然と力がこもる。兵庫大（加古川市平岡町新在家）硬式庭球部の3年生で、主将は2年から務める。

神戸市西区で生まれ、小学3年から近くのテニスクラブに通い始めた。「みんなと違うスポーツがしたくて。でも、友達と遊ぶ時は野球が多かったかな」。友人たちは野球やサッカーに熱中し、周囲に流される自分がいた。

小学5年の時、テニスに取り組む姿勢が変わった。中学生が腕を磨くクラスに、自身が昇格したからだ。「サーブもストロークも見たことない速さ。負けたくないって、『隠れ負けず嫌い』の性格に火が付いた」。レッスンがなくてもテニスクラブに通い、壁に向かってサーブを打つなど猛特訓。中学では、全国クラスの選手たちが所属するクラブに移り、利き手のショットの精度を高めた。

努力が結実したのは今年8月。学生日本一を決める全日本学生選手権（インカレ）にダブルスで出場した。中高では目前で全国出場を逃していた。テニスを始めて約10年。「個人的に三度目の正直だった」と喜びをかみしめる。

同大からはシングルス、ダブルスで計3組の出場が決まり、部にとっても初の快挙。だが、本戦に進めたのはシングルスのみ。1人だけで、自身は予選で敗れた。「（相手は）サーブの成功率が高く、返球から追い込まれた。自分たちの理想のテニスを相手にさせてしまった」と悔しがる。

新型コロナウイルス禍で、加盟している関西大学対抗リーグ戦は2年連続で中止に。5部に甘んじる現状には、決して満足していない。来年のリーグ戦が4部昇格へのラストチャンスとなる。「必ず勝ち抜く」。チームを上位進出に導き、有終の美を飾るつもりだ。

（千葉翔大）

兵庫大硬式庭球部主将 田中 聖人さん(21) 加古川市平岡町

## 部昇格、上位進出目指す

きらり  
ひとり巡り

たかな」。友人たちは野球やサッカーに熱中し、周囲に流される自分がいた。

小学5年の時、テニスに取り組む姿勢が変わった。中学生が腕を磨くクラスに、自身が昇格したからだ。「サーブもストロークも見たことない速さ。負けたくないって、『隠れ負けず嫌い』の性格に火が付いた」。レッスンがなくてもテニスクラブに通い、壁に向かってサーブを打つなど猛特訓。中学では、全国クラスの選手たちが所属するクラブに移り、利き手のショットの精度を高めた。

努力が結実したのは今年8月。学生日本一を決める全日本学生選手権（インカレ）にダブルスで出場した。中高では目前で全国出場を逃していた。テニスを始めて約10年。「個人的に三度目の正直だった」と喜びをかみしめる。

同大からはシングルス、ダブルスで計3組の出場が決まり、部にとっても初の快挙。だが、本戦に進めたのはシングルスのみ。1人だけで、自身は予選で敗れた。「（相手は）サーブの成功率が高く、返球から追い込まれた。自分たちの理想のテニスを相手にさせてしまった」と悔しがる。

新型コロナウイルス禍で、加盟している関西大学対抗リーグ戦は2年連続で中止に。5部に甘んじる現状には、決して満足していない。来年のリーグ戦が4部昇格へのラストチャンスとなる。「必ず勝ち抜く」。チームを上位進出に導き、有終の美を飾るつもりだ。

（千葉翔大）